



2019年3月期 第1四半期 決算説明会

株式会社SUBARU

取締役専務執行役員CFO 岡田 稔明
2018年8月6日

2019年3月期 第1四半期決算 サマリー

2019年3月期 第1四半期 実績

- 連結売上高は、販売台数の減少などにより減収。
- 主力の北米市場における小売販売は好調に推移しているものの、フルモデルチェンジを控えたフォレスターなどの出荷台数の減少および諸経費の増加などにより、営業利益は減益。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主 当期純利益	連結販売台数
実績 (対前年実績)	7,092億円 (-1,048億円)	576億円 (-618億円)	601億円 (-592億円)	455億円 (-369億円)	237.9千台 (-33.4千台)

2019年3月期 計画

- 通期連結業績計画は、前回(2018年5月11日)発表値から変更なし。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主 当期純利益	連結販売台数
計画 (対前年実績)	3兆2,500億円 (+173億円)	3,000億円 (-794億円)	3,050億円 (-749億円)	2,200億円 (-4億円)	1,100.4千台 (+33.5千台)

* 2019年3月期より会計方針変更(売上高から販売奨励金を控除)。比較年度についても同条件で算出。

2019年3月期 第1四半期 実績

第1四半期実績 連結完成車販売台数

(千台)

	2018年3月期 1Q 実績	2019年3月期 1Q 実績	増減
登録車	33.3	22.9	-10.4
軽自動車	7.2	6.0	-1.2
国内合計	40.5	28.9	-11.6
米国	174.0	149.8	-24.1
カナダ	15.5	15.7	+0.3
ロシア	1.8	2.5	+0.7
欧州	8.3	15.3	+7.0
豪州	14.1	10.9	-3.2
中国	8.0	3.4	-4.6
その他	9.2	11.4	+2.2
海外合計	230.9	209.0	-21.9
合計	271.3	237.9	-33.4

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

4

2019年3月期 第1四半期実績について、ご報告致します。

連結販売台数は、23万7千9百台となり、前年同期比で3万3千4百台減少となりました。

国内については、

「インプレッサ」および「SUBARU XV」の新型車効果が一巡したことに加え、

「フォレスター」がフルモデルチェンジ直前であったことなどにより、

前年同期比で1万1千6百台の減少となる、2万8千9百台となりました。

海外では、

当社の重点市場であります北米を中心に、

現地小売販売は、「SUBARU XV/ CROSSTREK」の販売が好調で勢いは衰えていないものの、

フルモデルチェンジを控えて「フォレスター」の出荷が減少したことなどにより、

連結販売台数では、前年同期比 2万1千9百台の減少となる 20万9千台となりました。

第1四半期実績 連結業績

(億円)				
	2018年3月期 1Q 実績		2019年3月期 1Q 実績	増減
売上高	(8,548)	8,140	7,092	-1,048
国内	(1,605)	1,603	1,302	-301
海外	(6,943)	6,537	5,790	-746
営業利益		1,193	576	-618
営業外損益		-1	+25	+26
経常利益		1,193	601	-592
特別損益		-11	+15	+25
税前利益		1,182	616	-567
親会社株主に帰属する 当期純利益		823	455	-369
単独為替レート		¥112/US\$	¥108/US\$	-¥4/US\$

* 2019年3月期より会計方針変更(売上高から販売奨励金を控除)。比較年度についても同条件で算出
* カッコ内数値：販売奨励金控除前

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

5

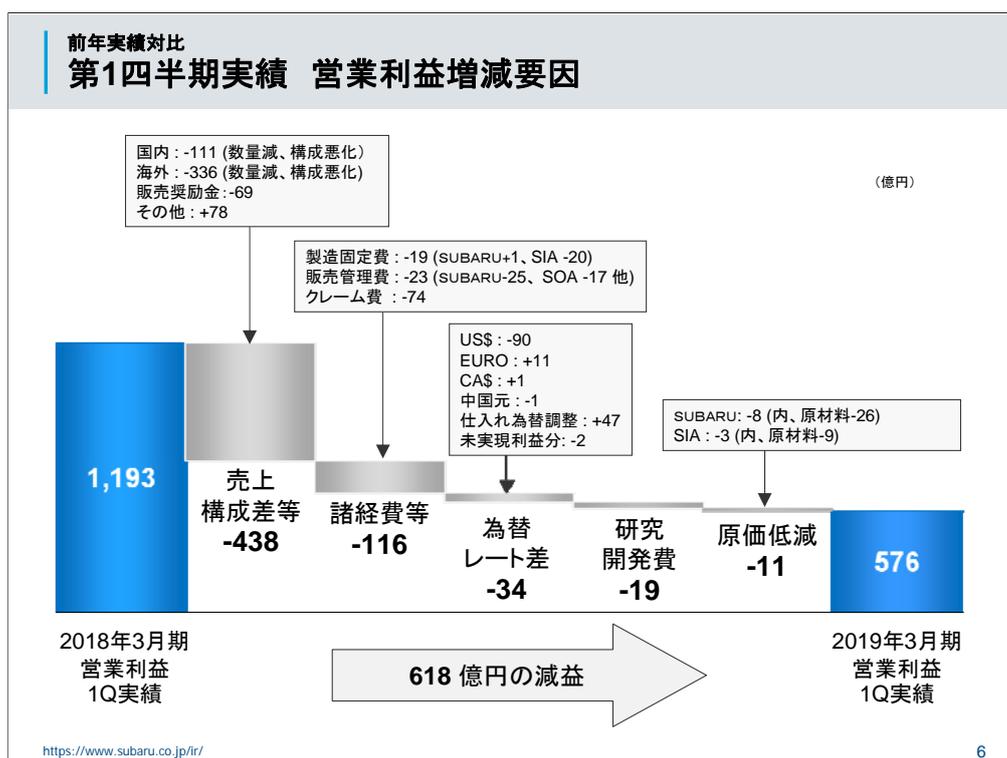
次に、連結業績です。

連結売上高は、売上構成差の悪化-942億円、為替レート差-50億円、カンパニー等-56億円により、前年同期比1,048億円の減収となる7,092億円となりました。

なお、売上高の前年度比較につきましては、新しい会計方針に従って前年度実績を再計算しております。

営業利益につきましては、主力の米国市場で小売販売は好調に推移しているものの、フルモデルチェンジを控えたフォレスターなどの出荷台数減少および諸経費等の増加などにより、前年同期比 618億円の減益となる 576億円、経常利益は、592億円減益の601億円となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益は、前年同期比369億円の減益となる455億円となりました。



続きまして、営業利益増減要因についてです。

前年同期実績に対し618億円の減益となりますが、その減益要因について、それぞれご説明いたします。

<1>売上構成差等で-438億円です。詳細は次の4つにわかれます。

①新車国内 -111億円 ②新車海外 -336億円 ③販売奨励金 -69億円 ④在庫調整等その他 +78億円です。

尚、会計方針変更に伴い、従来販売管理費に含んでおりました販売奨励金は売上構成差等に含んでいます。

また、販売奨励金 -69億円の内、SOA分は-59億円。

台あたりインセンティブは\$2,500で、前年同期の\$1,800から\$700の増加となりました。

<2>諸経費等の増加 -116億円で、詳細は次の3つです。

①製造固定費の増加により-19億円です。そのうち、

SUBARUは、固定加工費の減により+1億円。

SIAは、外製型費の増により-12億円、固定加工費の増により-8億円で、-20億円となりました。

②販売管理費の増加で-23億円です。

内訳は、SUBARUで-25億円、国内ディーラーは+1億円、SOAは-17億円、カナダ子会社は±0、

その他で+18億円です。

③クレーム費の増加で-74億円です。

<3>為替レート差で-34億円です。

米ドルは約4円の円高で、-90億円。

ユーロは約9円の円安で+11億円、カナダドルは約1円の円安で+1億円。

その他、中国元で-1億円、SUBARUと海外子会社の仕入れ為替調整で+47億円、在庫未実現利益分として-2億円となりました。

<4>研究開発費の増加で-19億円です。

<5>原価低減は-11億円です。そのうち、

SUBARUでは、原価低減により+18億円、原材料等により-26億円で、-8億円。

SIAでは、原価低減により+6億円、原材料等により-9億円で、-3億円となりました。

以上で、2019年3月期第1四半期の連結営業利益は、前年同期実績1,193億円から618億円の減益となる576億円となりました。

連結貸借対照表

(億円)

	2018年3月末	2019年6月末	増減
総資産	28,665	28,606	-58
流動資産	17,704	17,296	-409
固定資産	10,960	11,311	+350
負債合計	13,055	12,960	-95
有利子負債	862	567	-295
純資産合計	15,610	15,646	+36
利益剰余金	12,835	12,738	-98
自己資本	15,528	15,573	+44
自己資本比率	54.2%	54.4%	-
D/Eレシオ	0.06	0.04	-

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

* 税効果会計基準の一部改正にともない、2019年3月期より算出方法を変更。比較年度についても同条件で算出。 7

続きまして、バランスシートです。

総資産は、2兆8,606億円と前期末に比べ58億円の減少となりました。

主な要因は、現金及び預金と有価証券を合わせた手許資金の減少662億円、有形固定資産の増加304億円、仕掛品の増加152億円、商品及び製品の増加145億円などです。

負債は、1兆2,960億円と前期末に比べ95億円の減少となりました。

主な要因は、未払法人税等の減少315億円などです。

純資産は、1兆5,646億円と前期末に比べ36億円の増加となりました。

主な要因は、為替換算調整勘定の増加147億円、利益剰余金の減少98億円などです。

自己資本比率は54.4%となりました。

第1四半期実績 連結キャッシュフロー

(億円)

	2018年3月期 1Q実績	2019年3月期 1Q実績	増減
営業活動CF	1,411	260	-1,150
投資活動CF	-384	-300	+83
フリーCF	1,027	-40	-1,067
財務活動CF	-884	-837	+47
換算差額	6	166	+160
現金及び現金同等物の増減	149	-712	-861
連結除外に伴う現金及び 現金同等物の減少額	-5	-	+5
連結子会社の決算期変更による 現金及び現金同等物の増減額	37	-	-37
現金及び現金同等物 合計	7,467	6,944	-523

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

8

次は、連結キャッシュフローです。

営業活動による資金の増加は260億円となりました。
 主な要因は、税金等調整前四半期純利益 616億円、
 法人税等の支払 471億円などです。

投資活動による資金の減少は300億円となりました。
 主な要因は、固定資産の取得による支出284億円などです。

その結果、フリーキャッシュフローは-40億円となりました。

財務活動による資金の減少は837億円となりました。
 主な要因は、配当金の支払537億円、長期借入金の返済による支出197億円、
 短期借入金の減少99億円などです。

また、現金及び現金同等物は、6,944億円となりました。

第1四半期実績 海外子会社業績

(Million US\$)

SOA	2018年3月期 1Q実績	2019年3月期 1Q実績	増減
売上高	4,726	4,205	-521
営業利益	139	-7	-146
当期純利益	88	3	-85
小売販売台数(千台)	160.0	172.6	12.6

SIA	2018年3月期 1Q実績	2019年3月期 1Q実績	増減
売上高	2,163	1,980	-183
営業利益	77	7	-70
当期純利益	50	7	-43
生産台数(千台)	99.3	86.7	-12.6

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

9

米国子会社の業績です。

SOAの小売販売は、モデル末期となる「フォレスター」の販売が落ち込みましたが、クロストレックが引き続き好調に推移したことにより、前年同期に対し1万2千6百台増の17万2千6百台となりました。

一方、一時的な在庫調整などを背景に、卸売台数が減少したことなどにより、当第1四半期につきましては、売上高は、前年同期比 \$521Mの減収となる \$4,205M、営業利益は前年同期比\$146Mの減益となる-\$7Mとなりました。

営業利益の増減要因は、数量・構成差-\$78M、販管費の増で-\$68Mにより、前年同期比\$146Mの減益となる-\$7Mとなりました。

SIAの売上高は、前年同期に対し-\$183Mの\$1,980Mとなりました。営業損益は、数量価格構成差-\$50M、原価低減活動-\$2M、固定費増-\$18Mにより、前年同期比-\$70Mとなる\$7Mとなりました。

2019年3月期 見通し

通期計画 連結完成車販売台数

(千台)

	2018年3月期 実績	2019年3月期 計画	増減
登録車	132.6	122.7	-9.9
軽自動車	30.9	28.1	-2.8
国内合計	163.4	150.8	-12.7
米国	670.9	707.0	+36.0
カナダ	56.8	61.4	+4.6
ロシア	7.7	11.5	+3.8
欧州	40.2	32.5	-7.7
豪州	55.7	55.5	-0.2
中国	26.9	29.9	+3.0
その他	45.2	51.9	+6.6
海外合計	903.5	949.7	+46.2
合計	1,066.9	1,100.4	+33.5

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

11

続きまして、2019年3月期 通期計画です。

連結販売台数につきましては、期初に発表した計画からの修正はありません。

通期計画 連結業績計画

(億円)

	2018年3月期 実績		2019年3月期 計画	増減
売上高	(34,052)	32,327	32,500	+173
国内	(6,686)	6,680	6,086	-594
海外	(27,367)	25,647	26,415	+767
営業利益		3,794	3,000	-794
経常利益		3,799	3,050	-749
税前利益		2,973	2,987	+14
親会社株主に帰属する 当期純利益		2,204	2,200	-4
単独為替レート		¥111/US\$	¥105/US\$	-¥6/US\$

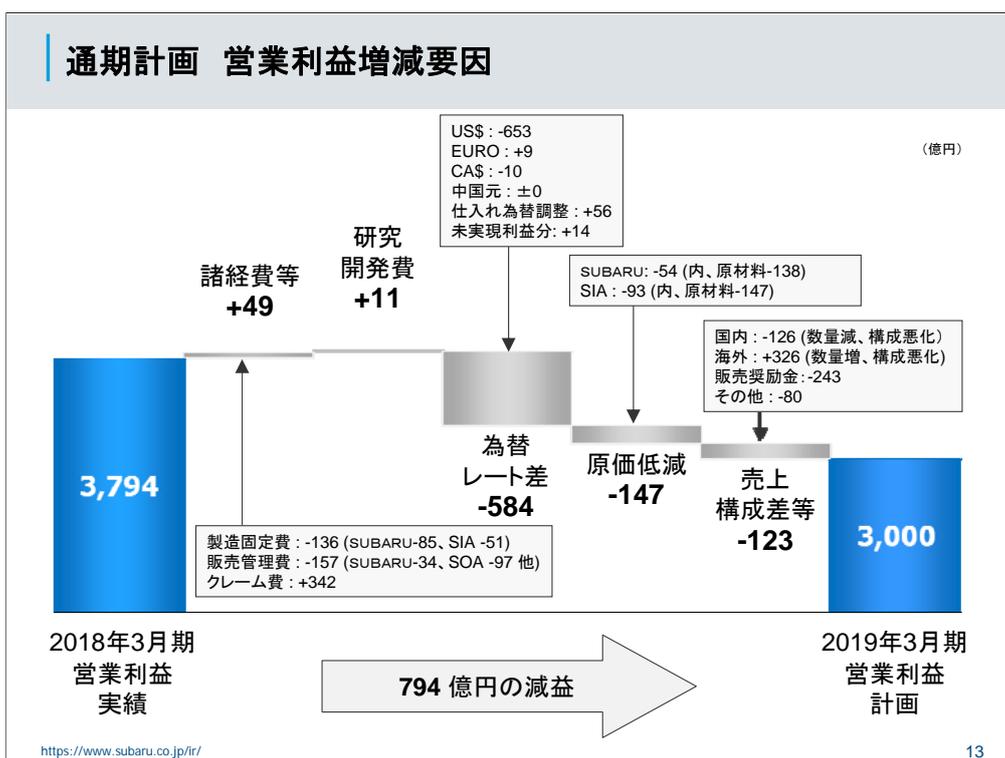
* 2019年3月期より会計方針変更(売上高から販売奨励金を控除)。比較年度についても同条件で算出
* カッコ内数値：販売奨励金控除前

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

12

売上高、損益計画につきましても、期初の発表値から変更はありませんが、
売上高の前年度比較につきましては、新しい会計方針に従って前期実績を再計算しております。

通期計画 営業利益増減要因



続きまして、営業利益増減要因についてです。

こちらも変更はありませんが、
 会計方針変更に伴い、販売奨励金は売上構成差等に含んでおります。

通期計画 海外子会社業績

(Million US\$)

SOA	2018年3月期 実績	2019年3月期 計画	増減
売上高	18,402	19,678	+1,276
営業利益	356	273	-83
当期純利益	235	227	-8
小売販売台数(千台)	651.9	700.0	+48.1

SIA	2018年3月期 実績	2019年3月期 計画	増減
売上高	7,673	9,157	+1,484
営業利益	176	128	-48
当期純利益	134	103	-31
生産台数(千台)	348.6	384.0	+35.4

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

14

米国子会社の通期計画です。

こちらにつきましても、変更はありません。

設備投資・減価償却費・研究開発費・有利子負債

(億円)

	2018年3月期 1Q実績	2018年3月期 通期実績 (a)	2019年3月期 1Q実績	2019年3月期 通期計画 (b)	増減 (b)-(a)
設備投資	220	1,414	283	1,300	-114
減価償却費	202	898	213	930	+32
研究開発費	262	1,211	281	1,200	-11
有利子負債	1,107	862	567	800	-62

* 2019年3月期より会計方針変更にもない、当社および国内連結子会社の一部の有形固定資産の償却方法を定率法から定額法へ変更。

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

15

最後に、設備投資、減価償却費、研究開発費、有利子負債についてです。

第1四半期の実績は、設備投資283億円、減価償却費213億円、研究開発費281億円となりました。通期計画については、いずれも前回の発表値から変更はありません。

次ページ以降は、セグメント情報や、今期上期業績計画の詳細など、ご参考となります。

以上で2019年3月期 第1四半期決算の説明を終わります。

ありがとうございました。

ご参考

- ・連結営業外収支 / 特別損益
- ・セグメント情報(事業別 / 所在地別)
- ・海外売上高
- ・単独販売台数
- ・第2四半期累計業績計画

第1四半期 実績 連結営業外収支/特別損益

(億円)

	2018年3月期 1Q 実績	2019年3月期 1Q 実績	増減
金融収支	11	24	+12
為替影響	-8	-7	+1
その他	-4	+9	+13
営業外収支	-1	25	+26
固定資産売却益	1	8	+6
投資有価証券売却益	1	21	+20
固定資産除売却損	-12	-13	-1
その他	0	-1	-1
特別損益合計	-11	+15	+25

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

17

第1四半期実績 事業セグメント別業績

(億円)

	売上高			営業利益			
	2018年 3月期 1Q 実績	2019年 3月期 1Q 実績	増減	2018年 3月期 1Q 実績	2019年 3月期 1Q 実績	増減	
自動車	(8,122)	7,714	-985	1,168	552	-616	
航空宇宙		339	330	-10	18	16	-3
その他		86	33	-53	12	7	-5
消去・全社				-5	1	+6	
合計	(8,548)	8,140	7,092	-1,048	1,193	576	-618

* 2019年3月期より会計方針変更(売上高から販売奨励金を控除)。比較年度についても同条件で算出
* カッコ内数値：販売奨励金控除前

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

18

第1四半期実績 所在地別セグメント業績

(億円)

	売上高			営業利益			
	2018年 3月期 1Q実績	2019年 3月期 1Q実績	増減	2018年 3月期 1Q実績	2019年 3月期 1Q実績	増減	
日本	(2,414)	2,412	2,070	-343	934	454	-480
北米	(5,635)	5,244	4,542	-701	233	24	-209
その他	(498)	484	480	-4	9	-2	-10
消去・全社					18	99	+82
合計	(8,548)	8,140	7,092	-1,048	1,193	576	-618

* 2019年3月期より会計方針変更(売上高から販売奨励金を控除)。比較年度についても同条件で算出
 * カッコ内数値：販売奨励金控除前

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

19

第1四半期 実績 連結海外売上高

(億円)

	2018年3月期 1Q 実績		2019年3月期 1Q 実績	増減
北米	(5,917)	5,525	4,776	-750
欧州	(254)	252	420	+168
アジア	(360)	348	224	-123
その他	(412)	412	371	-41
合計	(6,943)	6,537	5,790	-747

* 2019年3月期より会計方針変更(売上高から販売奨励金を控除)。比較年度についても同条件で算出
 * カッコ内数値：販売奨励金控除前

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

20

第1四半期 実績 単独販売台数

(千台)

	2018年3月期 1Q 実績	2019年3月期 1Q 実績	増減
国内生産	176.3	154.8	-21.6
国内売上	44.5	30.5	-14.0
登録車	36.7	24.6	-12.1
軽自動車	7.8	5.9	-1.9
輸出台数	136.5	122.9	-13.6
海外生産用部品	89.3	90.1	+0.7
単独売上合計	270.3	243.4	-26.8

※ 生産台数にはトヨタ向け86/FR-Sの台数を含む

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

21

第2四半期累計計画 連結完成車販売台数

(千台)

	2018年3月期 2Q累計 実績	2019年3月期 2Q累計 計画	増減
登録車	67.3	56.0	-11.3
軽自動車	15.1	13.0	-2.1
国内合計	82.3	68.9	-13.4
米国	333.2	313.0	-20.3
カナダ	30.7	31.6	+0.8
ロシア	3.7	7.0	+3.3
欧州	17.8	20.9	+3.1
豪州	27.7	26.9	-0.8
中国	13.8	12.4	-1.4
その他	22.0	25.7	+3.7
海外合計	448.9	437.4	-11.5
合計	531.3	506.3	-24.9

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

22

第2四半期累計計画 連結業績

(億円)

	2018年3月期 2Q累計 実績		2019年3月期 2Q累計 計画	増減
売上高	(16,863)	16,080	14,630	-1,450
国内	(3,286)	3,283	2,670	-613
海外	(13,577)	12,797	11,961	-837
営業利益		2,121	1,100	-1,021
経常利益		2,127	1,117	-1,010
税前利益		1,285	1,082	-203
親会社株主に帰属する 当期純利益		850	791	-59
単独為替レート		¥111/US\$	¥105/US\$	-¥6/US\$

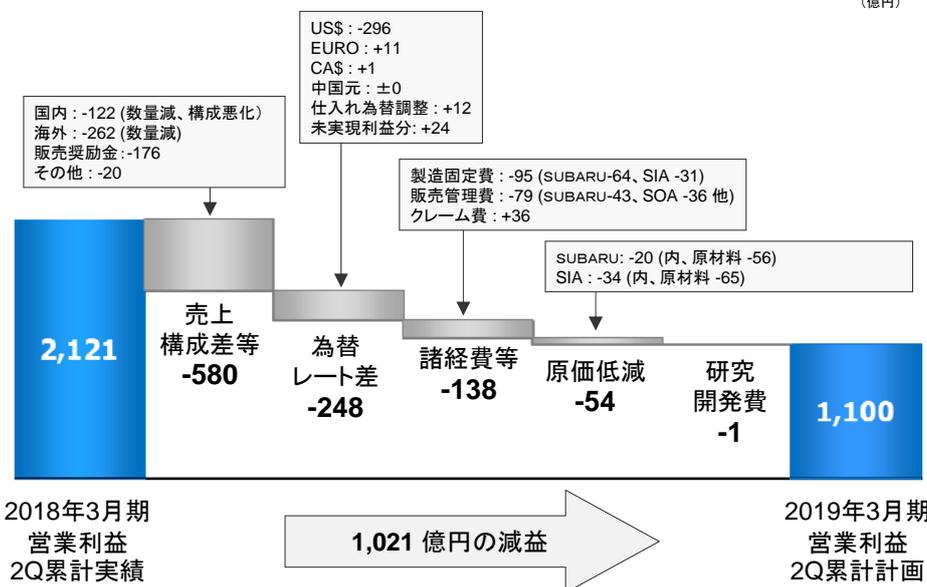
* 2019年3月期より会計方針変更(売上高から販売奨励金を控除)。比較年度についても同条件で算出
* カッコ内数値：販売奨励金控除前

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

23

第2四半期累計計画 営業利益増減要因

(億円)



<https://www.subaru.co.jp/ir/>

24



本資料に記載されている計画、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、現在入手可能な情報、予測に基づいた仮定、および判断であり、様々なリスクや不確実性を含みます。将来における当社の実際の業績は、当社を取り巻く経済情勢、需要や為替レートの変動などにより、これらと異なる結果となる場合がございます。従いまして、この見通しのみで全面的に依拠されることは避けて頂きますようお願い致します。

<https://www.subaru.co.jp/ir/>